



ほっかむりの蒲草柄がアレンジされたような「真」トートバック15960円。「seisuke88」で最も多用されている柄「龍」のシザーポーチ7980円。「龍頭」ガーデニングポーチ13860円は、外ポケットが多く便利なバッグ



子孫繁栄・商売繁盛を意味する「龍頭」の長袖シワシャツは、万が一アイロンをあててもシワが還元する「スウリュウ加工」が施された独特の表情を持つ1枚で、14700円。「松竹梅」カーゴパンツ23100円



映画「ラストサムライ」のメイクを担当した石川洋子さんとのコラボレーションで生まれたコスメポーチは、来春からの発売予定。写真の商品は試作品。もちろん、本邦初公開！使い勝手と質感の更なる追求に励む

京 KYOTIAN I.D.  
京のおきばりさん

seisuke88 代表

## 高橋 聖介

TAKAHASHI SEISUKE

【プロフィール】1966年8月8日京都生まれ。高橋練染の3代目。3年前、ファクトリーを土台に敷いたアパレルブランド「seisuke88」を立ち上げる。ブランド名内の「88」は誕生日から。タグを組んだのは、葦原善兵衛が西陣で創業した木野織物の8代目・木野善之氏。

# 先達の残した伝統的意匠を武器に 驚進劇を見せるファクトリー集団

練染。高橋さんの実家が営む「高橋練染」は、洋服の生地との風合いを引き出すための加工作業を行っている。「大学を卒業するまではアメリカ行きたかった。けど、家業も面白そうやしとりあえずやってみようって気軽に始めたたら、ズドンとはまってしまつて(笑)」。京都にはこんな技術があるんだ、ということを広めたいと思つた。買うだけだった洋服を、洋服になる前の作業に携わる自分が、つくることができないか。常々考えていた。その矢先、長年交流を続けていた西陣の織物屋の木野善之さんから「ウチの蔵の整理するし、来る？」との誘い。軽い気持ちで訪れた歳で出会つたのが、いま「seisuke88」を支えている図案集だつた。

100〜130年以上前に、京都画壇の優れた日本画家たちの協力を得てつくられた帯地に使われた図案。その斬新さ、面白さ、独特の色使いに目を見張つた。「これや！って確信した」。他ではお目にかかれない宝物。「その場で20柄選んで貸してくれ！」と語つた親友の頼みを木野さんが快諾した瞬間、「seisuke88」の進むべき道が開けたのかもしれない。

伝統的意匠を現代のファッションとして甦らせる。ただプリントしただけではなく、生地づくり、デザイン、染め、仕上げに至るまで、全工程を自分たちで行う。それがファクトリーブランドの強みだ。「ウチしかできないスタイルでアピールせな意味ないでしょ」とは、本業があつてこそ言葉。ブランドの立ち上げに際して、いち早くインクジェット機を導入したのも、微妙な配色や図案のサイズも自由に換えられて、小ロットで商品をつくれることができたから。もちろんコスト面でも、日常着としてのラインを保てる。「3年経つてそろそろ次の挑戦の準備に入ってる。配色をピピットにしたり、デザインも驚くもんを考えて。京都ブランドからはみ出してるかもしれないね(笑)」。

それでも、譲れないラインがある。「柄を切つたり、変えたりはせえへん。それってデザイン考えた人に失礼でしょ？敬意を払いつつ、色やサイズを変化させてデザインに組み込んでいく。自分たちのルーツとなる柄を大事にしていきたい」。だからこそ、アパレルだけに留まらず、図案と自分たちの企画力を持つて新たな分野とのコラボも進出してる。現在、和菓子屋と組んだカフエの話が進行中だ。「龍」や「鯉」「蝶」などがデザインされた器に出会える日もそう遠くはないだろう。京都だからこそその勝負。高橋さん率いる仲間が生み出す商品から目が離せない。

### Information

seisuke88の商品は下記のweb・ショップにて販売中  
<http://seisuke88.com>

三条ダマシ店  
■京都市中京区富小路東入ル南側  
☎075-221-2871  
●11:00~20:30/木休